

国立大学法人 長岡技術科学大学
令和2年度第2回経営協議会議事要旨

日 時 令和2年6月18日（木）13時30分～14時55分
【Zoomミーティングによるオンライン会議】

出席者 東議長、天羽委員、荒木委員、池田委員、小花委員、合田委員、関委員、谷口委員、
トラン委員、山本委員、鎌土委員、大石委員、秋山委員、和田委員、中出委員、
湯川委員
(議事の表決委任による出席 磯田委員)

陪席者 齋藤監事、滝上監事、梅田附属図書館長

事務局 総務部長、大学戦略課長、企画・広報室長、総務課長、財務課長、
総合情報課専門員、総務課専門員、財務課専門員、総合情報課IR・評価主任、
財務課予算係員、総務課総務係長、総務課総務係員

議事に先立ち、東議長から学外委員の交代による委員の紹介及び、令和2年度第1回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 平成31事業年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書について

鎌土委員から、資料1-1から1-3に基づき説明があり、審議の結果、文部科学省に提出する業務の実績に関する報告書案（資料1-3）について、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：大学からの回答）

○学生がどのように育ったか、アウトプットを見せる工夫が必要である。卒業生のデータを集められると説得力が増す。

●アウトプットを示していくことは重要と考えている。就職先企業でのアンケートや、活躍のデータを集めて加えていきたい。

○卓越大学院プログラムを実際に進めていく中で、どのような課題などがあるか。

●本学が得意としている産学連携による実践的な教育を中心として進めていくプログラムであり、プログラムを動かしながら、良い方向へ進むように修正を加えながら実施している。

●海外の大学や企業等に派遣しているが、新型コロナウイルスの関係で急遽帰国させるなど、プログラムにも影響が出てきている。

●現在、現役の社会人を受け入れる仕組みを検討しており、案が固まれば報告したい。

○国際連携のプログラムは新型コロナウイルスの影響を大きく受けている。このような問題も克服し、トップランナーとして卓越大学院プログラムを進めてほしい。高く評価されているプログラムなので頑張ってもらいたい。

○社会や産業界が今、変わってきている。この半年から1年の間に企業の方向性が変わってくる。社会や産業界の変化に対して、企業はどのように対応していくかが課題になってくる。変化に対し、スピード感をもって対応できる人材育成もできると良い。

●COVID19の影響による世界経済や企業の動向、新しい形の産学連携など、ポストコロナ、ウィズコロナに対応した教育研究の在り方をタスクチームにより検討している。今後の卓越大学院プログラムも方向性を変えなければならないかもしれないが、成果が出るようにしたい。

○海外との共同研究も多く、引き続き推進してもらいたい。海外との共同研究を推進するにあたって、本学にはどのような資源があるか。

●本学では、人材の教育と供給することが主になる。日系企業が進出している地域で、現地の大学を含めた産学連携教育を行うことで、国際共同研究も増えてきた。

2. 中期目標の達成状況報告書について

鎌土委員から、資料2-1から2-2に基づき説明があり、審議の結果、大学改革支援・学位授与機構に提出する中期目標の達成状況報告書案（資料2-2）について、これを承認した。

○本学の特徴として中南米の国にも戦略的に拠点を置いている。一般的には、拠点校が増えるとそれを維持していくことが難しくなる。チリに拠点を置いた理由と、拠点を維持するにあたって財政面の対応について伺いたい。

●本学は自動車産業が盛んで日系企業も進出しているメキシコと以前から連携している。また、スペインのバスク地方と強いパイプがある。本学が展開している国際ネットワークの中で、スペイン語圏関係者から、南米にも目を向けるべきとの意見があり、政情が比較的安定し、ものづくり教育を強化しているチリが南米の一つの拠点になると考えた。

拠点の継続については、スペインもチリも遠方であるが、関係の深い現地教員のサポートを得て、費用をかけないで維持できている。

○卒業生の活躍に関して、企業の人事担当者から見た大学ランキングなど、他大学と比較して本学が高い評価を得られている客観的な指標があると良い。

●卒業生のデータに関しては、もっとアピールできるような指標等を考えたい。

3. 令和元事業年度決算について

秋山委員から、資料3-1～3-5に基づき説明があり、また、滝上監事から資料3-6に基づき監査結果が報告され、審議の結果、これを承認した。

4. 令和3年度概算要求について

秋山委員から、資料4-1～4-3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 令和2年度資金運用方針について

秋山委員から、資料5-1～5-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

報告事項

1. 新型コロナウイルス感染症への対応状況について

学長から資料6に基づき、新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応状況等について報告があった。

以 上